



2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2021年8月3日

上場会社名 三菱商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 8058 URL <http://www.mitsubishicorp.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 垣内 威彦

問合せ先責任者 (役職名) 主計部 予・決算管理チームリーダー (氏名) 西原 直

(TEL) 03-3210-2121

四半期報告書提出予定日 2021年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	3,793,730	42.2	247,775	342.7	198,847	394.4	187,572	411.6	267,443	137.6
2021年3月期第1四半期	2,667,435	△32.3	55,975	△74.9	40,221	△76.9	36,661	△77.3	112,583	529.1

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	127.07	126.71
2021年3月期第1四半期	24.79	24.74

(注)「基本的1株当たり四半期利益」及び「希薄化後1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算出しています。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	19,145,128	6,681,074	5,771,269	30.1
2021年3月期	18,634,971	6,538,390	5,613,647	30.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	67.00	—	67.00	134.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	67.00	—	67.00	134.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	円 銭
通期	380,000	120.2
	%	円 銭
	—	257.43

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料12頁「3. 会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	1,485,723,351株	2021年3月期	1,485,723,351株
2022年3月期1Q	9,528,670株	2021年3月期	9,618,263株
2022年3月期1Q	1,476,134,019株	2021年3月期1Q	1,478,725,488株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料4頁「1. (4) 業績予想の修正について」をご覧ください。

添付資料

目次

四半期連結財務諸表及び主な注記	2
1. 全般	2
(1) 業績概況	2
(2) 資産及び負債・資本の状況	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想の修正について	4
2. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
3. 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	12
4. 継続企業の前提に関する注記	12

※ 当社は、機関投資家・アナリスト向けの第1四半期決算説明会をテレフォンカンファレンス形式で開催する予定です。

なお、当説明会の内容（日本語）につきましては、当社ホームページ（IR（投資家情報））
<https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/ir/index.html> よりライブ配信いたします。

・2021年8月3日(火) 18:00～19:00・・・第1四半期決算説明会

四半期連結財務諸表及び主な注記

1. 全般

(以下「四半期純利益」は「当社の所有者に帰属する四半期純利益」を指しています。)

(1) 業績概況

収益は、需要回復に伴う取引数量の増加及び価格の上昇などにより、前第1四半期連結累計期間を1兆1,263億円(42%)上回る3兆7,937億円となりました。

売上総利益は、自動車関連事業及び鉄鋼製品事業における需要の回復などにより、前第1四半期連結累計期間を418億円(11%)上回る4,215億円となりました。

販売費及び一般管理費は、連結範囲変更の影響や連結子会社における経費の減少などにより、前第1四半期連結累計期間から57億円(2%)減少し、3,392億円となりました。

有価証券損益は、ファンド評価損益の改善などにより、前第1四半期連結累計期間を268億円(308%)上回る355億円(利益)となりました。

固定資産減損損失は、前第1四半期連結累計期間からほぼ横ばいの25億円となりました。

その他の損益は、為替関連損益の変動などにより、前第1四半期連結累計期間から194億円改善し、124億円(利益)となりました。

金融収益は、資源関連投資先からの受取配当金の増加などにより、前第1四半期連結累計期間を282億円(152%)上回る468億円となりました。

金融費用は、米ドル金利の低下などにより、前第1四半期連結累計期間から34億円(24%)減少し、107億円となりました。

持分法による投資損益は、三菱自動車工業における前年同期に計上した減損損失の反動及び販売台数の回復などにより、前第1四半期連結累計期間を683億円(461%)上回る831億円(利益)となりました。

これらの結果、税引前利益は、前第1四半期連結累計期間を1,918億円(343%)上回る2,478億円となりました。

以上により、四半期純利益は、前第1四半期連結累計期間を1,509億円(411%)上回る1,876億円となりました。

(2) 資産及び負債・資本の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より5,101億円(3%)増加し、19兆1,451億円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より3,178億円(4%)増加し、7兆4,207億円となりました。これは、需要回復に伴う取引数量増加及び価格上昇により営業債権及びその他の債権が増加したことなどによるものです。

非流動資産は、前連結会計年度末より1,923億円(2%)増加し、11兆7,244億円となりました。これは、新規・追加取得などにより持分法で会計処理される投資が増加したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より3,675億円(3%)増加し、12兆4,641億円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より3,385億円(6%)増加し、5兆7,087億円となりました。これは、新規資金調達により社債及び借入金が増加したことなどによるものです。

非流動負債は、前連結会計年度末より289億円(0%)増加し、6兆7,553億円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末より1,427億円(2%)増加し、6兆6,811億円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の当社の所有者に帰属する持分は、前連結会計年度末より1,577億円(3%)増加し、5兆7,713億円となりました。これは、主に配当の支払いにより利益剰余金が減少した一方で、連結純利益の積み上がりにより利益剰余金が増加したことや、為替相場の変動により在外営業活動体の換算差額が増加したことなどによるものです。

また、非支配持分は、前連結会計年度末より149億円(2%)減少し、9,098億円となりました。

有利子負債総額から現金及び現金同等物や定期預金を控除したネット有利子負債(リース負債除く)は、前連結会計年度末より1,307億円(3%)増加し、4兆3,091億円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ354億円増加し、1兆3,532億円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、営業活動により資金は1,247億円増加しました。これは、運転資金負担の増加や法人所得税の支払いなどがあったものの、営業収入や配当収入などにより資金が増加したものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、投資活動により資金は793億円減少しました。これは、関連会社への投資やその他の投資の売却などによる収入があったものの、設備投資、関連会社への投資や融資などによる支出により、資金が減少したものです。

投資キャッシュ・フローの主な内容及びセグメントは以下のとおりです。

新規・更新投資

- ・豪州原料炭事業（金属資源）
- ・銅事業（金属資源）
- ・リース事業（複合都市開発）
- ・LNG関連事業（天然ガス）
- ・CVS事業（コンシューマー産業）

売却及び回収

- ・北米不動産事業（複合都市開発）
- ・北米シェールガス事業（天然ガス）

以上の結果、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローの合計であるフリーキャッシュ・フローは454億円の資金増となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、財務活動により資金は176億円減少しました。これは、運転資金需要増などに伴う資金調達があったものの、配当金の支払いやリース負債の返済、長期借入債務の返済などにより資金が減少したものです。

配当は持続的な利益成長に合わせて増配していく「累進配当」を行う方針としています。負債による資金調達は、流動性と財務健全性の観点で適切な水準を維持する方針としています。

また、上記の財務会計上の営業キャッシュ・フローとは別に、将来の新規投資や株主還元などの原資を適切に表すべく、運転資金の増減影響を控除した営業キャッシュ・フローに、事業活動における必要資金であるリース負債支払額を反映した「営業収益キャッシュ・フロー（リース負債支払後）」と、さらに投資活動によるキャッシュ・フローを加えた「調整後フリーキャッシュ・フロー」を定義しています。

営業収益キャッシュ・フロー（リース負債支払後）は、当第1四半期連結累計期間において2,386億円の資金増となりました。

この結果、調整後フリーキャッシュ・フローは、1,593億円の資金増となりました。

(4) 業績予想の修正について

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、2021年5月7日公表の連結業績予想から変更はありません。

(注意事項)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2021年6月30日)
<u>資産の部</u>		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,317,824	1,353,240
定期預金	148,081	158,660
短期運用資産	15,201	8,340
営業債権及びその他の債権	3,269,390	3,352,614
その他の金融資産	209,402	290,946
棚卸資産	1,348,861	1,418,088
生物資産	74,182	82,850
前渡金	58,027	79,866
売却目的保有資産	41,020	53,324
その他の流動資産	620,905	622,820
流動資産合計	7,102,893	7,420,748
非流動資産		
持分法で会計処理される投資	3,290,508	3,403,061
その他の投資	1,816,029	1,827,136
営業債権及びその他の債権	763,124	772,979
その他の金融資産	93,102	112,100
有形固定資産	2,510,238	2,544,178
投資不動産	95,419	92,872
無形資産及びのれん	1,248,462	1,242,981
使用権資産	1,469,700	1,491,489
繰延税金資産	42,233	42,812
その他の非流動資産	203,263	194,772
非流動資産合計	11,532,078	11,724,380
資産合計	18,634,971	19,145,128

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2021年6月30日)
負債及び資本の部		
流動負債		
社債及び借入金	1,262,522	1,469,782
営業債務及びその他の債務	2,665,060	2,735,777
リース負債	235,498	239,280
その他の金融負債	256,657	380,378
前受金	133,474	152,996
未払法人税等	53,178	42,772
引当金	89,268	84,472
売却目的保有資産に直接関連する負債	12,762	3,145
その他の流動負債	661,766	600,129
流動負債合計	5,370,185	5,708,731
非流動負債		
社債及び借入金	4,381,793	4,351,261
営業債務及びその他の債務	54,893	52,405
リース負債	1,304,703	1,319,679
その他の金融負債	55,817	77,064
退職給付に係る負債	129,126	128,033
引当金	195,997	199,042
繰延税金負債	569,641	593,157
その他の非流動負債	34,426	34,682
非流動負債合計	6,726,396	6,755,323
負債合計	12,096,581	12,464,054
資本		
資本金	204,447	204,447
資本剰余金	228,552	229,154
自己株式	△26,750	△26,510
その他の資本の構成要素		
FVTOCIに指定したその他の投資	457,123	457,599
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△52,355	△71,703
在外営業活動体の換算差額	379,917	457,066
その他の資本の構成要素計	784,685	842,962
利益剰余金	4,422,713	4,521,216
当社の所有者に帰属する持分	5,613,647	5,771,269
非支配持分	924,743	909,805
資本合計	6,538,390	6,681,074
負債及び資本合計	18,634,971	19,145,128

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
収益	2,667,435	3,793,730
原価	△2,287,707	△3,372,184
売上総利益	379,728	421,546
販売費及び一般管理費	△344,949	△339,183
有価証券損益	8,702	35,532
固定資産除・売却損益	1,536	724
固定資産減損損失	△1,315	△2,546
その他の損益－純額	△7,045	12,421
金融収益	18,605	46,816
金融費用	△14,091	△10,659
持分法による投資損益	14,804	83,124
税引前利益	55,975	247,775
法人所得税	△15,754	△48,928
四半期純利益	40,221	198,847
四半期純利益の帰属		
当社の所有者	36,661	187,572
非支配持分	3,560	11,275
	40,221	198,847
1株当たり四半期純利益(当社の所有者に帰属)		
基本的	24.79円	127.07円
希薄化後	24.74円	126.71円

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	40,221	198,847
その他の包括利益 (税効果後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
FVTOCIに指定したその他の投資による損益	31,808	11,014
確定給付制度の再測定	△196	235
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△7,562	△4,268
合計	24,050	6,981
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△5,460	△33,572
在外営業活動体の換算差額	83,294	46,026
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△29,522	49,161
合計	48,312	61,615
その他の包括利益合計	72,362	68,596
四半期包括利益合計	112,583	267,443
四半期包括利益の帰属		
当社の所有者	108,111	255,754
非支配持分	4,472	11,689
	112,583	267,443

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
資本金		
期首残高	204,447	204,447
期末残高	204,447	204,447
資本剰余金		
期首残高	228,153	228,552
株式報酬に伴う報酬費用	106	414
株式報酬に伴う自己株式の処分	△190	△89
非支配株主との資本取引及びその他	92	277
期末残高	228,161	229,154
自己株式		
期首残高	△294,580	△26,750
株式報酬に伴う自己株式の処分	274	242
取得及び処分—純額	△19,774	△2
消却	285,962	—
期末残高	△28,118	△26,510
その他の資本の構成要素		
期首残高	415,186	784,685
当社の所有者に帰属するその他の包括利益	71,450	68,182
利益剰余金への振替額	△10,160	△9,905
期末残高	476,476	842,962
利益剰余金		
期首残高	4,674,153	4,422,713
当社の所有者に帰属する四半期純利益	36,661	187,572
配当金	△100,957	△98,910
株式報酬に伴う自己株式の処分	△54	△64
自己株式の消却	△285,962	—
その他の資本の構成要素からの振替額	10,160	9,905
期末残高	4,334,001	4,521,216
当社の所有者に帰属する持分	5,214,967	5,771,269
非支配持分		
期首残高	989,535	924,743
非支配株主への配当支払額	△19,624	△16,172
非支配株主との資本取引及びその他	3,410	△10,455
非支配持分に帰属する四半期純利益	3,560	11,275
非支配持分に帰属するその他の包括利益	912	414
期末残高	977,793	909,805
資本合計	6,192,760	6,681,074
四半期包括利益の帰属		
当社の所有者	108,111	255,754
非支配持分	4,472	11,689
四半期包括利益合計	112,583	267,443

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	40,221	198,847
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費等	131,850	134,862
有価証券損益	△8,702	△35,532
固定資産損益	△221	1,822
金融収益・費用合計	△4,514	△36,157
持分法による投資損益	△14,804	△83,124
法人所得税	15,754	48,928
売上債権の増減	385,210	△63,984
棚卸資産の増減	△709	△54,775
仕入債務の増減	△336,325	△1,036
その他—純額	95,471	△68,665
配当金の受取額	48,139	114,108
利息の受取額	19,711	19,015
利息の支払額	△19,646	△13,616
法人所得税の支払額	△55,059	△36,011
営業活動によるキャッシュ・フロー	296,376	124,682

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産等の取得による支出	△98,597	△82,658
有形固定資産等の売却による収入	12,687	2,315
持分法で会計処理される投資の取得による支出	△92,937	△43,849
持分法で会計処理される投資の売却による収入	20,400	46,294
事業の取得による支出(取得時の現金受入額控除後の純額)	—	△1,133
事業の売却による収入(売却時の現金保有額控除後の純額)	4,936	831
その他の投資の取得による支出	△8,687	△7,916
その他の投資の売却等による収入	42,835	26,251
貸付の実行による支出	△27,161	△23,024
貸付金の回収による収入	20,672	14,888
定期預金の増減—純額	1,957	△11,262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123,895	△79,263
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金等の増減—純額	175,371	205,255
長期借入債務等による調達	479,205	145,084
長期借入債務等の返済	△462,178	△182,037
リース負債の返済	△70,352	△68,278
当社による配当金の支払	△100,957	△98,910
子会社による非支配株主への配当金の支払	△19,624	△16,172
非支配株主からの子会社持分追加取得等による支払	△2,311	△4,005
非支配株主への子会社持分一部売却等による受取	4,320	1,480
自己株式の増減—純額	△19,743	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,269	△17,586
現金及び現金同等物に係る為替相場変動の影響額	8,673	7,583
現金及び現金同等物の純増減額	164,885	35,416
現金及び現金同等物の期首残高	1,322,812	1,317,824
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,487,697	1,353,240

3. 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「第5 経理の状況 連結財務諸表注記 4. 未適用の新たな基準書及び解釈指針」において、非流動負債に分類する要件等を明確化するIAS第1号（改訂）を当第1四半期連結会計期間より適用予定としていましたが、当基準のさらなる改訂が見込まれていることを踏まえ、当社適用年度を翌連結会計年度以降（未定）に変更しています。

4. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2021年度第1四半期決算

2021年8月3日

三菱商事株式会社

(将来に関する記述等についてのご注意)

- ・ 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。
- ・ また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報、及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- ・ 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

(本資料における留意点について)

- ・ 本資料における「連結純利益」は、非支配持分を除く、当社の所有者に帰属する当期純利益の金額を表示しています。

2021年度第1四半期決算

	2020年度 第1四半期実績	2021年度 第1四半期実績	増減	2021年度 業績見通し	進捗率
連結純利益	367億円	1,876億円	+1,509億円	3,800億円	49%
事業系	115億円	1,173億円	+1,058億円	3,163億円	37%
市況系*	194億円	636億円	+442億円	647億円	98%

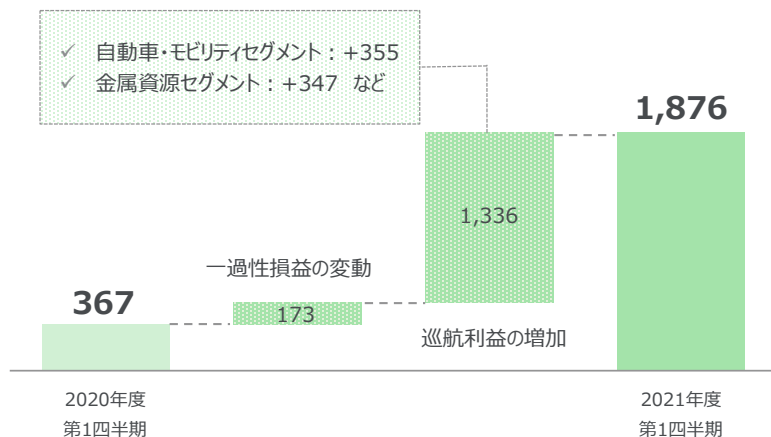
*「市況系」は天然ガスセグメントの内、北米シェールガス及びE&P、金属資源セグメントの内、トレーディング・インキュベーション関連以外、産業インフラセグメントの内、船舶（一般商船）を含めています。

<前年同期比の増減>

(億円)

◎ 連結純利益は前年同期比+1,509億円の増益となった。

- ✓ 前年同期は資源価格の下落や自動車をはじめとする需要の急減など、新型コロナウイルスによる影響を最も強く受けたが、その後の世界的な経済活動の再開に伴う自動車関連事業等における需要回復や資源価格の上昇など、事業環境の改善を、それぞれの事業で着実に利益に結びつけた。

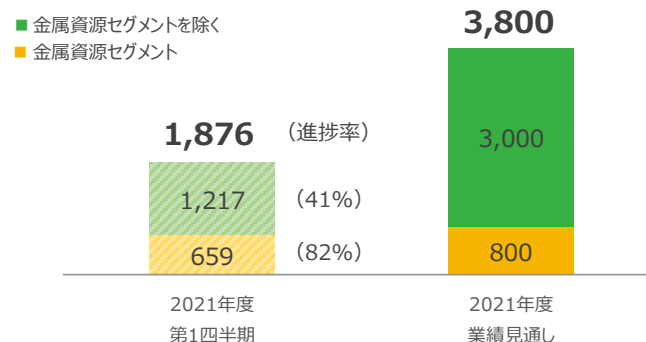


<2021年度業績見通しに対する進捗率>

(億円)

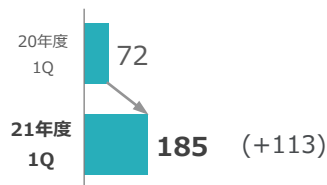
◎ 通期業績見通しに対する進捗率は、49%となった。

- ✓ 豪州原料炭事業における巡航利益の偏重に加え、アルミ製錬事業の売却に係る一過性利益の計上も重なり、金属資源セグメントは82%の高進捗となった。
- ✓ 業績見通しについては、足許の東南アジア等における新型コロナウイルスの感染再拡大の影響や、高値圏で推移する資源価格の動向を慎重に見極める必要があるため、第2四半期にかけて精査の上、上昇幅を見定める。

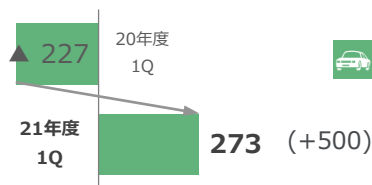


セグメント別の状況

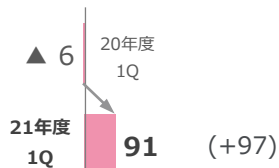
連結純利益： 2020年度 第1四半期 367 (億円)
2021年度 第1四半期 1,876 (+1,509 : 前年同期比)



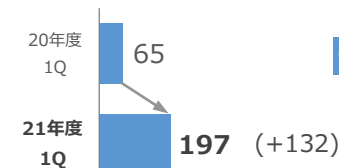
天然ガス
LNG関連事業における受取配当金や北米シェールガス事業における持分利益の増加など



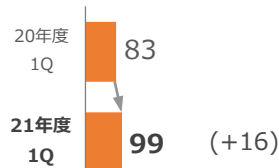
自動車・モビリティ
前年同期に計上した三菱自動車工業における一過性損失の反動に加え、三菱自動車工業やアジア自動車事業における持分利益の増加など



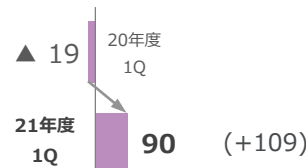
総合素材
鉄鋼製品事業における持分利益の改善など



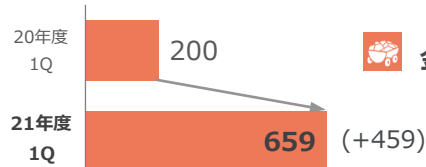
食品産業
鮭鱒養殖事業における持分利益の改善など



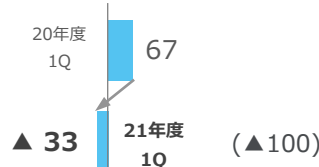
石油・化学ソリューション
LPG事業における持分利益の増加など



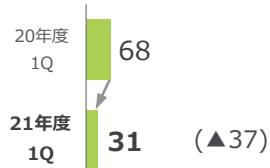
コンシューマー産業
CVS事業における持分利益の改善など



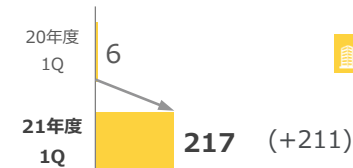
金属資源
銅事業における受取配当金の増加や鉄鉱石事業における持分利益の増加、及びアルミ製錬事業における一過性利益など



電力ソリューション
発電資産等の売却益の減少や海外電力事業における持分利益の減少など

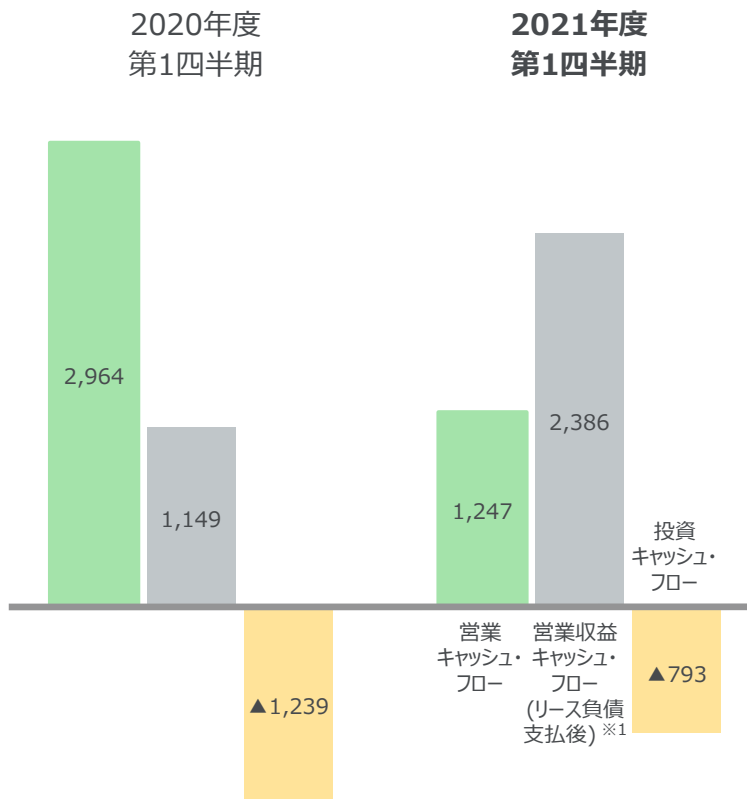


産業インフラ
千代田化工建設における一過性損失など



複合都市開発
ファンド評価益の増加やリース事業における統合関連利益など

キャッシュ・フローの状況



【キャッシュ・フローの主な内訳】

		営業収益CF (リース負債支払後)	投資CF			調整後FCF
			新規・更新投資	売却及び回収	ネット	
参考	2019年度 (通期)	6,721	▲10,514	5,507	▲5,007	1,714
	2020年度 (通期)	6,252	▲8,034	4,461	▲3,573	2,679
2021年度 第1四半期		2,386	▲1,700	907	▲793	1,593

【2021年度第1四半期の投資キャッシュ・フローの主な内容】

新規・更新投資	売却及び回収
<ul style="list-style-type: none"> ・豪州原料炭事業（金属資源） ・銅事業（金属資源） ・リース事業（複合都市開発） ・LNG関連事業（天然ガス） ・CVS事業（コンシューマー産業） 	<ul style="list-style-type: none"> ・北米不動産事業（複合都市開発） ・北米シェールガス事業（天然ガス）

<調整後フリーキャッシュ・フロー※2>

▲90

+1,593

※1 営業収益キャッシュ・フロー： 運転資金の増減影響を控除した営業キャッシュ・フロー（リース負債支払後）
（連結純利益（非支配持分を含む）－減価償却費－投資活動関連損益－未配当の持分法損益－貸倒費用等－繰延税金）にリース負債の支払額を反映したもの

※2 調整後フリーキャッシュ・フロー： 営業収益キャッシュ・フロー（リース負債支払後）と投資キャッシュ・フローの合計

【参考】市況の状況

【為替・商品・金利市況の状況】

	2021年度 第1四半期実績	2021年度 業績見通し※ (5/7公表)	増減	2021年度業績見通しに対する損益インパクト [油価・銅地金については、生産数量等により大きく変動する 可能性があるため、現時点での試算に基づく参考値を記載]
為替 (円/US\$)	109.52	108.00	+1.52	1円の円安/円高につき年間20億円の増益/減益インパクト。
油価 (ドバイ) (US\$/BBL)	44	54 [21年4月～9月 : 57]	▲10	US\$1/BBLの上昇/下落につき年間25億円の増益/減益インパクト。 連結会社との決算期の違いやLNG販売価格への油価反映の タイムラグ等による当社の実績への影響に鑑み、6か月前の油価 (通期：10～9月平均)を記載している。 ただし、油価の変動以外にも、配当性向、為替要因、生産・販売数 量等の複数の影響も受けるため、油価のみで単純に決定されるもの ではない。
銅地金 (US\$/MT) [US¢/lb]	9,700 [440]	7,826 [355]	+1,874 [+85]	US\$100/MTの上昇/下落につき年間13億円の増益/減益インパクト (US¢ 10/lbの上昇/下落につき年間28億円の増益/減益インパクト)。 ただし、銅の価格変動以外にも、粗鉱品位、生産・操業状況、再投 資計画(設備投資)等の要素からの影響も受けるため、銅の価格の みで単純に決定されるものではない。
円金利 (%) TIBOR 3M	0.07	0.10	▲0.03	取引利益や投資利益により金利上昇の影響は相殺される部分が 相当あるが、金利上昇が急である場合には一時的に影響を受ける。
US\$金利 (%) LIBOR 3M	0.16	0.30	▲0.14	

※ 業績見通しは、通期平均価格を記載している。